

陳情第1号

陳 情 者 壬生町幸町2丁目28番4号
川の日を国民の祝日にしよう会
会 長 桑 原 史 朗

「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書に関する陳情書

1 陳情の趣旨

私たちは、壬生町に「川の日を国民の祝日にしよう会」を立ち上げて、川の恩恵を享受していることに感謝する日、一人一人が川の大切さを考え直すキッカケの記念日として国民の祝日にすることを目的に運動を行っています。

つきましては、「川の日」を国民の祝日に定めることを求める意見書を佐野市議会において採択していただきたく陳情します。

2 陳情の理由

(1) 山の湧水から生まれ、生命体の命の水となって川となり海へ流れ込んでいます。その古から変わることのない「生活の知恵」が自然環境生態系を創り出しています。

日々の暮らしに切っても切れない自然美豊かな川との付き合いで、大きな恩恵を享受していることを感謝するため。

(2) 「天災は忘れた頃にやってくる」の警句のように油断してはいけない。

突然の川の猛威（自然の力）への対策を怠らずに、常日頃から川の恐ろしさを学習するため、そして大切な川（自然）の保護と防災そして利水・治水を有効に活用するため官民一体となり対策に万全を期するため。

(3) 川に流れる水の恩恵を受けて、希少価値の小さな命が当たり前のように懸命に生きている姿を見て、勇気と元気を貰っている自然環境を守り育てるため。

このように大切な川に対し、国民一人一人が感謝し考え直すきっかけとして、国民の祝日にする必要があると考えます。

ふるさととちぎには海がなく、あるのは山と川であり、その故郷を感じるのは身近に流れている多くの清流であります。この住み良い栃木県から、「川の日を国民の祝日にしよう」と全国に先駆けて発信し、行動を起こした私たちの趣旨をご理解のうえ、佐野市議会においてこの意見書を採択し、国会に提出して頂くよう陳情いたします。